

プログラムの概要

団体名称	代表団体: 北海道開発教育ネットワーク(D-net) 協力団体: 北海道ユネスコ連絡協議会
実施期間	2018年7月～2021年3月(2年9ヵ月間)
実施場所	北海道内各地
タイトル	SDGs達成に向けたESDの授業実践力向上プロジェクト ～北海道開発教育ネットワーク(D-net)教員研修プログラム～
目的	SDGs達成をめざす(開発教育を中心とした)ESDの教材を開発すると共に、既成教材の活用も含めて、道内で広く授業実践することにより、教員へのSDGsの啓発並びにその授業実践力の向上を図る。また、本プログラムに参加してくれた教員とのネットワーク強化を図ることで、SDGsをめざすESDの普及に寄与する。
概要	17あるSDGsのうち、小中高校生の発達段階に合わせて「貧困」「教育」「水とトイレ」などのいくつかの目標を選択し、各目標の背後にある現状を現地調査によって把握し、その解決のための行動化を促すためにESD教材の開発を行う。更に、道内各地でその開発した教材並びに既存の教材も活用しながら、授業実践や教員対象の研修会を実施し、その成果を「SDGs達成に向けたESD実践事例集」として出版し、更にホームページ上でも実践内容を発信し、教員及び教育関係者へSDGs達成に向けたESDの実践の普及を図る。
受講対象者及び定員	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩教育研究会国際理解教育部会 研修会(2018年9月) 144名 ・北海道国際理解教育研究大会・後志大会(2018年11月) 37名 ・全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会・旭川大会(2019年8月) 50名 ・石狩教育研究会国際理解教育部会 研修会(2019年9月) 100名 ・ " (2020年9月) 100名 ・北海道国際理解教育研究大会・札幌大会(2020年) 50名 ・道内40校以上での授業実践後の研修会(1校10名程度) 400名 ・道内20ヵ所以上での教員向け研修会の開催(1ヵ所30名程度) 600名
到達目標	<p>【2018年度】 現地でのフィールドワークをもとに開発した教材を「SDGs達成に向けたESD実践事例集」として編集することに取り組むと共に、既存の教材を活用しながら、教員研修会を開催し、教員の授業実践力向上とネットワーク拡大の基盤をつくる。</p> <p>【2019年度】 「SDGs達成に向けたESD実践事例集(初版)」を作成し、それをもとにユネスコスクールを始め各地の学校で、授業実践や教員研修会を開催し、教員の授業実践力向上とネットワーク拡大を図る。</p> <p>【2020年度】 実践を通して完成度を高めた教材集を「SDGs達成に向けたESD実践事例集(改訂版)」として編集すると共に、その事例集を活用した授業実践と教員研修を全道的に展開し、更なる普及とネットワークの拡大を図る。</p>
到達目標を測る指標	<ol style="list-style-type: none"> ① SDGs達成をめざすESD教材開発のフィールドとして適切な3ヵ所程度の国・地域で現地調査を実施する。 ② 道内40以上の学校で、開発した教材を使用して実践をする。 ③ 道内各地で、教員を対象とした模擬授業形式の研修会を30回程度開催する ④ 研修の成果を「SDGs達成に向けたESD授業実践事例集」として出版し、道内各地へ配布する。 ⑤ 研修会に参加してくれた教員を中心に、道内14の振興局にそれぞれ数名の核になる教員とつながりを築き、実践者のネットワーク拡大、充実を図る。